

一緒に考えて
みませんか？

あなたのチカラを 地域で活かそう！！

人生 100 年時代到来！！

地域とのつながりがあなたを支えみんなを支えます



今回の
テーマ

「なんとなく感じている将来の不安を正しく理解し、
自分なら何ができるかを地域の人みんなで考える」

2/2 (土) 9:30—16:30 (昼休み1時間)

会場：高津区橘出張所 2階大会議室 ※地図裏面参照

対象：高齢者の支え合い活動に興味のある方

受講料：無料

定員：80名 (申込順)

「支える福祉」から 「支え合う福祉」へ

この研修は、自分の暮らす地域に関心を広げ、多様な人々や組織を豊かなつながりを創り、小地域で「見守り」「買い物支援」「外出支援」の生活支援サービスの担い手となる人材を養成し、地域の人々の暮らしを支えることや新たな活動も創出されることを期待して実施します。

今日の社会の様子をわかりやすく解説するとともに、生き生きと活躍する生活支援サービスの取り組みをご紹介します。きっとあなたも明日から一歩を踏み出してみようと思うはずですよ！たくさんの方々の参加をお待ちしています。

講師



特定非営利活動法人
よこはま地域福祉研究センター
センター長 佐塚 玲子

2000年介護保険制度施行前より10年間の福祉現場経験から、これからの時代は「地域福祉」と確信。その後、中間支援NPO法人に8年勤務、5年前より現職。「対話から、はじめる。はじまる」をモットーに、様々な人や組織と垣根をつくらぬ福祉推進を実践中。神奈川県社会福祉審議会委員。



特定非営利活動法人
よこはま地域福祉研究センター
事務局・理事 吉川 典子

社会福祉士。要支援児童に対するソーシャルワークから地域福祉に関心をもち、2008年から中間支援業務に従事。高齢・障害・児童など対象別の縦割り福祉からの脱却、また、支えられる福祉から、当事者が自ら社会で生き抜ける福祉への転換を目指し研究と実践をおこなう。

【研修プログラム】 ※内容は前後する可能性があります

講義

- 高齢者福祉サービスの今
- 高齢者の理解・認知症の理解
生活支援サービスの担い手に必要な心得と手法

映像鑑賞&講義

- 生活支援サービスってどんな取り組み？
- 住民主体の活動紹介

講義&ワークショップ&演習

- 取り組みに必要なコミュニケーション手法
- 活動マネジメントについて
地域に必要なサービス実践シミュレーション

会場



住所：川崎市高津区千年1362-1

2/2 (土) 参加申込書 FAX 044-799-7952 申込締切 1月25日 (金)

氏名	男 ・ 女	ご年齢
TEL	Email	
住所 〒	所属団体・勤務先	
受講動機	職種・保有資格	

【お申込み・お問合せ】 わらく地域包括支援センター TEL 044-799-7951 FAX 044-799-7952

▶HP お申込みフォームからお申込みできます。

NPO 法人よこはま地域福祉研究センター

<http://yresearch-center.jp/seiaktusien2018/>



「支える福祉」から 「支え合う福祉」へ

この研修は、自分の暮らす地域に関心を広げ、多様な人々や組織を豊かなつながりを創り、小地域で「見守り」「買い物支援」「外出支援」の生活支援サービスの担い手となる人材を養成し、地域の人々の暮らしを支えることや新たな活動も創出されることを期待して実施します。

今日の社会の様子をわかりやすく解説するとともに、生き生きと活躍する生活支援サービスの取り組みをご紹介します。きっとあなたも明日から一歩を踏み出してみようと思うはずですよ！たくさんの方々の参加をお待ちしています。

【研修プログラム】 ※内容は前後する可能性があります

講義

- 高齢者福祉サービスの今
- 高齢者の理解・認知症の理解
生活支援サービスの担い手に必要な心得と手法

映像鑑賞&講義

- 生活支援サービスってどんな取り組み？
- 住民主体の活動紹介

講義&ワークショップ&演習

- 取り組みに必要なコミュニケーション手法
- 活動マネジメントについて
地域に必要なサービス実践シミュレーション

講師



特定非営利活動法人
よこはま地域福祉研究センター
センター長 佐塚 玲子

2000年介護保険制度施行前より10年間の福祉現場経験から、これからの時代は「地域福祉」であると確信。その後、中間支援NPO法人に8年勤務、5年前より現職。「対話から、はじめる。はじまる」をモットーに、様々な人や組織と垣根をつくらぬ福祉推進を実践中。神奈川県社会福祉審議会委員。



特定非営利活動法人
よこはま地域福祉研究センター
事務局・理事 吉川 典子

社会福祉士。要支援児童に対するソーシャルワークから地域福祉に関心をもち、2008年から中間支援業務に従事。高齢・障害・児童など対象別の縦割り福祉からの脱却、また、支えられる福祉から、当事者が自ら社会で生き抜ける福祉への転換を目指し研究と実践をおこなう。

会場



住所：川崎市高津区千年 1362-1

2/2 (土) 参加申込書 FAX 044-861-6194 申込締切 1月25日 (金)

氏名	男 ・ 女	ご年齢
TEL	Email	
住所 〒	所属団体・勤務先	
受講動機	職種・保有資格	

【お申込み・お問合せ】 すえなが地域包括支援センター TEL 044-861-5320 FAX 044-861-6194

▶HP お申込みフォームからお申込みできます。

NPO 法人よこはま地域福祉研究センター

<http://yresearch-center.jp/seiaktusien2018/>



「支える福祉」から 「支え合う福祉」へ

この研修は、自分の暮らす地域に関心を広げ、多様な人々や組織を豊かなつながりを創り、小地域で「見守り」「買い物支援」「外出支援」の生活支援サービスの担い手となる人材を養成し、地域の人々の暮らしを支えることや新たな活動も創出されることを期待して実施します。

今日の社会の様子をわかりやすく解説するとともに、生き生きと活躍する生活支援サービスの取り組みをご紹介します。きっとあなたも明日から一歩を踏み出してみようと思うはずです！たくさんの方々の参加をお待ちしています。

講師



特定非営利活動法人
よこはま地域福祉研究センター
センター長 佐塚 玲子

2000年介護保険制度施行前より10年間の福祉現場経験から、これからの時代は「地域福祉」であると確信。その後、中間支援NPO法人に8年勤務、5年前より現職。「対話から、はじめる。はじまる」をモットーに、様々な人や組織と垣根をつくらぬ福祉推進を実践中。神奈川県社会福祉審議会委員。



特定非営利活動法人
よこはま地域福祉研究センター
事務局・理事 吉川 典子

社会福祉士。要支援児童に対するソーシャルワークから地域福祉に関心をもち、2008年から中間支援業務に従事。高齢・障害・児童など対象別の縦割り福祉からの脱却、また、支えられる福祉から、当事者が自ら社会で生き抜ける福祉への転換を目指し研究と実践をおこなう。

【研修プログラム】 ※内容は前後する可能性があります

講義

- 高齢者福祉サービスの今
- 高齢者の理解・認知症の理解
生活支援サービスの担い手に必要な心得と手法

映像鑑賞&講義

- 生活支援サービスってどんな取り組み？
- 住民主体の活動紹介

講義&ワークショップ&演習

- 取り組みに必要なコミュニケーション手法
- 活動マネジメントについて
地域に必要なサービス実践シミュレーション

会場



住所：川崎市高津区千年1362-1

2/2 (土) 参加申込書 FAX 044-865-6239 申込締切 1月25日 (金)

氏名	男 ・ 女	ご年齢
TEL	Email	
住所 〒	所属団体・勤務先	
受講動機	職種・保有資格	

【お申込み・お問合せ】 リ・ケア向ヶ丘地域包括支援センター TEL 044-865-6238 FAX 044-865-6239

▶HP お申込みフォームからお申込みできます。

NPO 法人よこはま地域福祉研究センター

<http://yresearch-center.jp/seiaktusien2018/>

